

2019年度

202002

患者安全推進 全体フォーラム



2020年

3月7日(土) 10:00~16:40**東京ビッグサイト 国際会議場** (東京都江東区)

りんかい線「国際展示場」徒歩約7分／ゆりかもめ「国際展示場正門」徒歩約3分

午前の部

部会報告

部会活動にまつわる最近のトピックス

部会長によるパネルディスカッション

医療安全情報・提言の使い方

～メリット・デメリットを考えて利用しよう～

午後の部

テーマ

仕事の本質を理解する

基調講演 「JR東日本が取り組む安全

～仕事の本質を理解する7つの心得～」

中達 太郎 (東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全企画部)

パネリスト1 「医療安全推進に向けた部署横断的な巻き込み方」(仮題)

島田 尚哉 (特定医療法人神戸健康共和会 東神戸病院 安全管理推進室 専従医療安全管理者)

パネリスト2 「医療安全文化を浸透させるための行動 ～RRSの導入・運用を例に～」

安宅 一晃 (奈良県立病院機構 医療専門職教育研修センター 所長)

申込受付中

申込締切：会員病院2月25日(火)／会員病院以外の医療機関2月17日(月)
詳細は裏面をご覧ください。

2019年度 患者安全推進全体フォーラム 募集詳細

- 定員 800名（1病院あたり、何名でもお申し込みいただけます）
- 募集対象 医療機関にご所属の方（職種は問いません）
- 参加費 会員病院 無料
会員病院以外の医療機関 1名につき 5,000円（税込）
- 受付期間 会員病院 2月25日（火）まで / 会員病院以外の医療機関 2月17日（月）まで
ただし定員になり次第受付を締め切らせていただきます。
- 申込方法 当協議会ホームページ（<https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/>）よりお申し込みください。
会員病院の申込はログインが必要です（要・ID、パスワード）。

【プログラム】 ※プログラム内容は変更する場合がございます。

I. 午前の部 10:00～12:15

プログラム1 部会活動にまつわる最近のトピックス（部会報告）

現在活動している五部会が今年度の取り組みの成果についてご報告するとともに、部会で取り上げているテーマに関する最新の知見について情報提供を行います。

① 薬剤安全部会

川井 信孝（部会長、埼玉医科大学国際医療センター 医療安全対策室 室長）

② 検査・処置・手術安全部会

長谷川 隆一（部会長、獨協医科大学埼玉医療センター 集中治療科 学内教授）

③ 施設・環境・設備安全部会

筧 淳夫（部会長、工学院大学 建築学部 建築デザイン学科 教授）

④ 教育プログラム部会

長谷川 剛（部会長、医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 情報管理特任副院長）

⑤ 患者安全推進ジャーナル企画部会

橋本 徹（部会長、倉敷中央病院 臨床検査・感染症科 主任部長／HQM推進センター センター長）

プログラム2

部会長によるパネルディスカッション

テーマ「医療安全情報・提言の使い方 ～メリット・デメリットを考えて利用しよう～」

医療安全の推進に取り組む各団体が、さまざまな“提言”を発信している。現在では多くの提言があふれ、受け手側には活用テクニックが求められている状況でもある。そこで、今回のフォーラムでは、世の中の“提言”を現場がどのように生かしていけばよいのか・“提言”に現場が振り回されないための考え方、などを部会横断的に検討する。

座長：米井 昭智（倉敷中央病院 医療安全管理室 GRM）

パネリスト：上記の五名

II. 午後の部 テーマ「仕事の本質を理解する」 13:25～16:40

座長：長谷川 剛（医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 情報管理特任副院長）

我々の仕事の目的は何か？ 正しく仕事をするというのはどういうことか？ 正しい行為を行いリスクを回避するために、手順が決められ、ダブルチェックを行い、チェックリストやアセスメントシートがある。多くの人間が多くの作業工程をこなす複雑化しているなかではこれらは不可欠であるが、これらを“作業”だと捉えると、不具合が出る。何のためのチェックリストなのか、すなわち“本質を理解する”組織文化がある場合・ない場合で、一見同じような行為であっても、安全性は全く違ってくるだろう。今回のフォーラムではこのような観点から安全な医療の推進について考えたい。

基調講演 「JR東日本が取り組む安全 ～仕事の本質を理解する7つの心得～」

中達 太郎（東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全企画部）

パネリスト1 「医療安全推進に向けた部署横断的な巻き込み方」（仮題）

島田 尚哉（特定医療法人神戸健康共和会 東神戸病院 安全管理推進室 専任医療安全管理者）

パネリスト2 「医療安全文化を浸透させるための行動 ～RRSの導入・運用を例に～」

安宅 一晃（奈良県立病院機構 医療専門職教育研修センター 所長）

全体討議

お問い合わせ

（公財）日本医療機能評価機構 教育研修事業部 柴田・横山 Tel 03-5217-2326

ご登録いただいた個人情報については、当機構の個人情報保護方針に基づき安全かつ適正に管理いたします。